

## 東京都後期高齢者医療懇談会の見直しについて

### 1 目的

広域連合に医療懇談会（被保険者等の意見を聴く場）を設置し、被保険者等の意見を施策に反映することで円滑な運営に努めてきた。団塊の世代がすべて後期高齢者になる2025年問題、団塊ジュニアが高齢化を迎える2040年問題など広域連合が直面する諸課題に適切かつ円滑に対応するためには、被保険者等の意見のみならず、さらに多様な意見を踏まえた取組が求められている。

このことから、公募委員を新たに加えることなどにより、医療懇談会をさらに多様な意見を聴く場とするとともに、その意見をとりまとめ広域連合に必要な取組を提言する機能を持つ会議体とする。広域連合は提言を踏まえた施策を検討・実施等を行うことで円滑な運営を図るものとする。

### 2 会議体の名称等

仮称「東京都後期高齢者医療広域連合運営会議」とする。

なお、運営会議は地方自治法上の附属機関とする。

### 3 会議体の所掌事務

運営会議は、次の事項について審議し、必要な提言ができるものとする。

- (1) 広域連合が策定する計画に関すること。
- (2) 後期高齢者医療の保険料に関すること。
- (3) 高齢者保健事業その他後期高齢者医療の事務・事業に関すること。
- (4) その他広域連合の運営上の重要事項に関すること。

### 4 会議体の組織

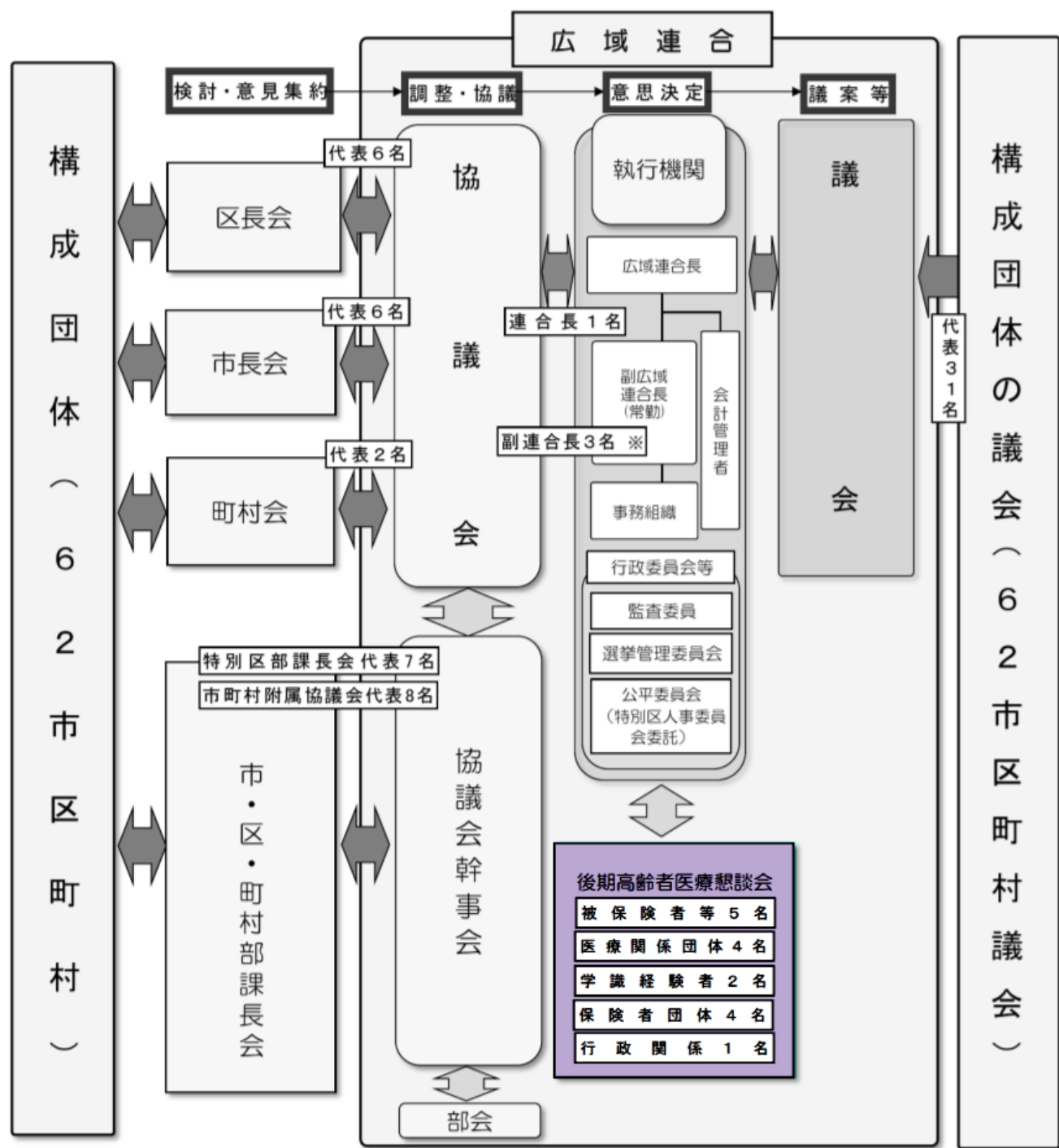
次の区分から選出する委員20人以内で組織する。

- (1) 後期高齢者医療の被保険者等を代表する者
- (2) 保険医その他の医療関係者を代表する者
- (3) 学識経験者
- (4) 医療保険者を代表する者
- (5) 委員の公募に応募した者

### 5 見直しのスケジュール

時期	スケジュール
令和5年1月	・広域連合令和5年第1回定例会で条例・関連予算の議案上程 ・議案可決後、条例公布
令和5年2月から6月	・公募委員の選考、委員の委嘱の準備等運営会議の設置の準備
令和5年7月1日	・条例施行

現在の都広域連合における協議組織(参考)



※広域連合規約第12条第4項第1号の規定により選任される者（区市町村長）